

# 第 119 回グリーンサポート隊活動報告

1. 日時：2021. 9. 12(日)午前9時～11時
2. 場所：C地区、D地区
3. 参加者：31名（役場3名含む）

夏休みで子供たちが林内入り虫探しをしています。その時に樹木の根本や積み置きしている切った枝などをひっくり返すので困っています。今まであまりなかったことです。今年はカブトムシやクワガタが雨や高温の影響でしょうか、大変少ないことも子供の行動に影響しているのかもしれませんが。雨が多いためか例年より草の成長が早い感じがします。以前意識的に刈り残した住宅近くは、予想通りタラノ木が成長していました。宅近くの陽当りの良いところの草は種類が違います。草花はこの時期これといったものは目につきません。

## ○8月25日（水）刈込隊活動（C地区）

8月は暑いので例年活動は休会していますが、雑草は待つてはくれませんので刈込隊は8月も草刈を実施しました。



## ○9月8日（水）刈込隊活動（C、E地区）

自走式草刈機による刈込は効率が良い



作業の後ろの白い帯はカシノナガクイムシ対策で薬剤塗布後ビニールを巻いた樹木



## ○9月13日（日）定例の活動日

今回から体験入隊で大崎電気社員の方が参加されました。企業の参加は大歓迎です。

法人の参加は、「ダイダン株式会社」「ヨコハマタイヤ東日本リトレッド株式会社」「株式会社富澤」に続いて4社目です。大変ありがたいことです。

### ①林内の落下した枝集め（C地区）

少しずつ来年1月の落ち葉掃き準備を進めていきます。落ち葉掃きの邪魔になるものを除去。



### ②堆肥置き場の現状

1月に落ち葉掃きを行い写真右側の置き場に落ち葉を積み増したが、現状は発酵促進のために左側の切替し場に移動して、ぬかの粉が振りかけられています。今年1月の落ち葉掃きでは、落ち葉の置き場が狭かったことと、外側の倒壊防止が十分でなかったことから今年11月にはスペースをワンスパン増設し、倒壊防止対策も強い杭を打ち込む予定にしています。これからカブトムシがこの堆肥に卵を産み付けるはずで



### ③カシノナガキクイムシ被害状況

カシノナガキクイムシの被害は収まる気配がありません。ますます被害が広がり惨いことになっています。殺虫剤などの特効薬がありませんので、被害樹木に薬剤を塗布してシートを巻くなどで被害が広がることを防ぐしかありません。

このまま放置しておくとうやがて枯れて倒木などの被害がでてしまう可能性があります。大きな樹木が被害を受けるので影響は大きいです。



#### ④林内の様子

秋はこの林の中でもキノコの季節です。残念ながら昨年まで見られたニオウシメジ、マイタケなど今年はありませんでしたが、いろいろな種類のキノコが出ています。名前がわからないのが残念です。形や色も様々で品種がわかると面白そうです。少し調べてみましょう。残念ながら食べられるものはなさそうです。



#### ・来月以降の予定

来年1月の落ち葉掃きに向けて林内整備活動、落ち葉掃きができるような状態にする作業を継続して実施。

11月は、有志で堆肥置き場の拡張作業を実施予定です

- ・堆肥置き場用に竹を調達し、組み立て、倒壊防止補強工事を実施予定
- ・カシノナガキクイムシ被害で多量の樹木を伐採したので、その結果出来た空間に植樹を予定しています。

12月は1月の落ち葉掃き本番に向けて林内の整備仕上げ活動を実施予定です。